

## オーディオ設定

Realtek® オーディオコーデックは 8 チャンネルオーディオをサポートしており、またソフトウェアにより、ジャック検出機能、S/PDIF出力サポート、割り込み機能に対応しています。このコーデックはRealtek® 開発の UAJ® (Universal Audio Jack) テクノロジーを採用しており、全てのポートでこのテクノロジーをサポートしていますので、ケーブル接続エラーを未然に回避し、プラグアンドプレイ対応で簡単に機器を接続することができます。

インストールウィザードに従って、サポートCD/DVDからRealtek® Audio Driver をインストールしてください。

Realtek オーディオソフトウェアがインストールされると、タスクトレイに Realtek HD Audio Manager アイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックすると、Realtek HD Audio Manager が起動します。



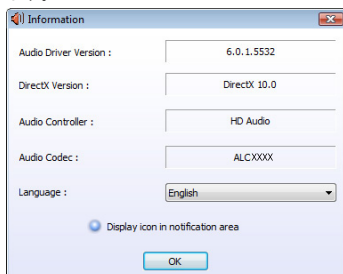
Realtek HD Audio Manager

### A. Realtek HD Audio Manager : Windows® 7™ / Vista™



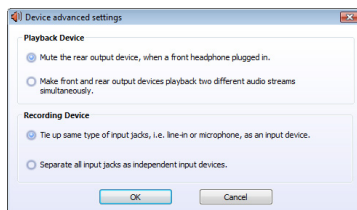
### Information (情報)

インフォメーションボタン( ) をクリックすると、オーディオドライバのバージョン、DirectXのバージョン、オーディオコントローラ、オーディオコーデック、言語設定等の情報が表示されます。




### Device advanced settings (詳細設定)

デバイス詳細設定ボタンをクリックすると、再生・録音デバイスの詳細設定が表示されます。



## Connector settings (コネクタ設定)

コネクタ設定ボタン(  )をクリックすると、アナログ/デジタル出力、入力ポートの詳細設定が表示されます。



## 設定オプション

設定する項目のタブをクリックし、各種オーディオ設定を行います。

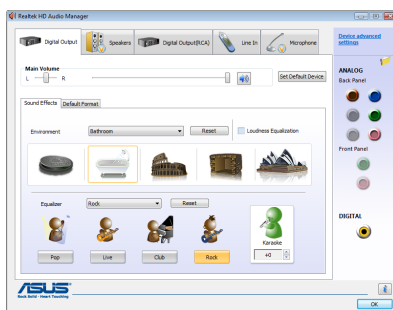


本マニュアルに記載した設定オプションは参照用です。実際に表示されるオプションとは異なる場合がありますので、予めご了承ください。Windows Vista™ / 7 環境ではRealtek HD Audio Managerがアナログ/デジタルポートに接続したデバイスを自動的に検出し、対応する設定オプションタブを表示します。

## Digital Output

### デジタル出力の設定

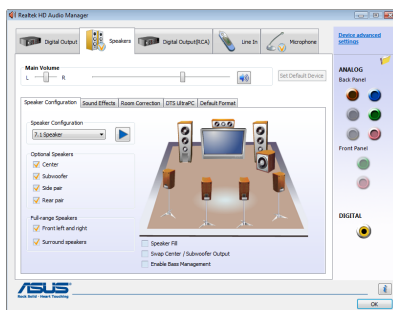
1. 「**Digital Output**」タブをクリックします。
2. 「**Set Default Device**」をクリックし、デジタル出力ポートを、デフォルトオーディオ出力デバイスに設定します。
3. 「**Sound Effects**」サブタブをクリックし、各種音響効果の設定を選択します。または、「**Default Format**」サブタブをクリックし、オーディオ出力のサンプルレートとビット数のデフォルトフォーマットを選択します。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Speakers

### スピーカーの設定

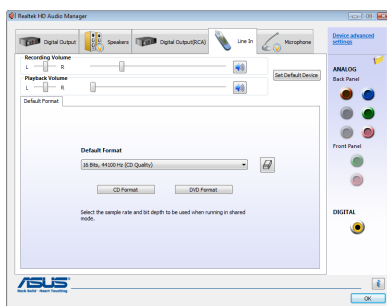
1. 「**Speakers**」タブをクリックします。
2. 「**Set Default Device**」をクリックし、アナログポートをデフォルトオーディオ出力デバイスに設定します。
3. 「**Speaker Configuration**」サブタブをクリックし、スピーカーの設定、またはスピーカーのテストを行います。
4. 「**Sound Effects**」サブタブをクリックし各種音響効果の設定を選択します。
5. 「**Room Correction**」サブタブをクリックしスピーカーの距離を個別に調節します。
6. 「**DTS UltraPC**」サブタブをクリックし、DTS UltraPC 機能の有効/無効を設定します。(特定モデルのみ)
7. 「**Default Format**」サブタブをクリックし、オーディオ出力のサンプルレートとビット数のデフォルトフォーマットを変更します。
8. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Line In

アナログライン入力を設定

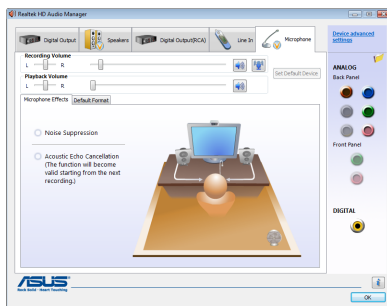
1. 「Line In」タブをクリックします。
2. 「Set Default Device」をクリックし、アナログライン入力ポートをデフォルトオーディオ入力デバイスに設定します。
3. Line In タブでは、録音、再生の際のボリュームの調整、オーディオ入力のサンプリングレートとビット数のデフォルトフォーマットを設定できます。
4. 「OK」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Microphone

マイクの設定


1. 「Microphone」タブをクリックします。
2. 「Microphone Effects」サブタブで「Noise Suppression」をクリックし、レコーディングの際のノイズを抑制します。「Acoustic Echo Cancellation」をクリックし、レコーディングの際のフロントスピーカーのエコーを抑制します。
3. 「Default Format」サブタブをクリックし、オーディオ入力のサンプリングレートとビット数のデフォルトフォーマットを変更します。
4. 「OK」をクリックし、設定を有効にして退出します。

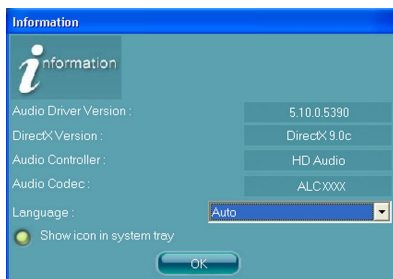


## B. Realtek HD Audio Manager : Windows XP



## Information

インフォメーションボタン  をクリックすると、オーディオドライババージョン、DirectXバージョン、オーディオコントローラ、オーディオコーデック、言語設定の各インフォメーションが表示されます。



## 設定オプション

設定する項目のタブをクリックし、各オーディオ設定を行います。

### Sound Effect

サウンドエフェクトの設定

1. 「**Sound Effect**」タブをクリックします。
2. ショートカットボタンまたはドロップダウンメニューをクリックし、各種音響効果を選択します。
3. 「**OK**」をクリックしSound Effect設定を有効にし退出します。



### Mixer

ミキサーの設定


1. 「**Mixer**」タブをクリックします。
2. ボリュームボタンで再生と録音のボリュームを調節します。



録音デバイスを無効にする場合は、録音デバイスの全てのチャンネルをミュートに設定して下さい。

3. 各項目のコントロールタブをクリック・ドラッグしてボリュームを調節します。




他のメニューオプションを表示するには  をクリックします。



4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。

## Audio I/O


### Audio I/O オプションの設定

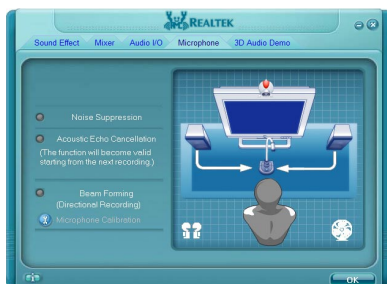
1. 「**Audio I/O**」をクリックします。
2. ドロップダウンメニューからチャンネル設定 (接続するスピーカー) を選択します。
3. コントロール設定ウィンドウに接続したデバイスの状態が表示されます。 をクリックしアナログまたは、デジタルを選択します。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。



## Microphone


### Microphone オプション

1. 「**Microphone**」タブをクリックします。
2. **Noise Suppression** をクリックし、レコーディングの際のノイズを抑制します。
3. **Acoustic Echo Cancellation** をクリックし、レコーディングの際のフロントスピーカのエコーを抑制します。
4. **Beam Forming** をクリックし、周囲のノイズを軽減します。マイクのキャリブレーションを行うには  をクリックします。
5. 「**OK**」をクリックし退出します。



## 3D Audio Demo

### 3D Audio Demo の開始

1. 「**3D Audio Demo**」タブをクリックします。
2. オプションボタンをクリックしサウンド、ムービングパス (軌道)、環境設定を変更します。
3.  をクリックし設定をテストします。
4. 「**OK**」をクリックし、設定を有効にして退出します。

